

東亞天文協會
—(觀測部月報)—

黃道光課報告 (1936年8月)

今月の報告を寄せられた課員は次の2君で、いづれも暁の東天の觀測。

鳥取縣八頭郡八東村 本田 實 15日, 18日, 26日

岐阜縣美濃町 廣瀬永治郎 25日

本田君がプレヤデスの11個明らかに認め得るといふ15日の良空に光帯を認めず、同じやうに良空の26日に細い光帯を天頂より稍西まで認めてゐるのは面白い。この日明瞭に消長を觀測してゐる。廣瀬君は25日に光帯を認めてゐない。觀測時刻がいくらか遅かつたからであらうか。

頂點は銀河をぬいてプレヤデスの上まで達してゐるのであるが、本田君が中心線に沿うた黄經 50° のあたりを特に明るく見てゐるのは、そのすぐ下の銀河の幻覺か、このあたりに明るい物質が存在するのか、吟味は11月の對日照にかかると。

色は黄白色といふところであるが、本田君が18日に色の變化に注意してゐる。空に雲があつたといふから、空氣の透明度の變化によるものと考へたい。明るさがあまり強くなって、柔い感じを受ける色は大氣の濕度の高い時ではあるまいか。黄道光だけでなく空全體にそんな感じを受けることが經驗深い廣瀬君によつて特記されてゐる。

7月の東天の黄道光よりも明るい。これは順當のこと。

× × ×

寺町幹事の手により、8月8日附で課報第50號が發行された。第2回黄道光會議の概要、本田君の臺灣遠征、良シ1イングと煙の問題、その他の記事滿載。〔淡翠山人記〕

流星課月例報告 (65)

昭和11年5月及6月

觀測者	觀測地	5月			6月		
		回数	觀測時間數	流星數	回数	觀測時間數	流星數
山田 才吉	愛知縣瀬戸市	4	240分	15	2	100	5
小槇 和枝	和歌山縣金屋	7	565	63	9	1180	169
小槇孝二郎	”	1	35	2	1	50	11
小槇 茂代	”	3	172	12	3	255	23
吉井 耕一	廣島縣竹原	10	950	111	6	550	55

以上の外森安、安武、淺野3氏より火球の報告があつた。

× × ×

觀測者少く觀測流星數は少い。6月下旬は梅雨期で觀測は殆んど不可能であつた。小槇、吉井2氏は日食觀測の爲6月15日出發北海道遠輕町へ遠征。待望の19日は晴天に恵まれて成功、凱歌を奏して26日無事歸着す。

5月上旬の水瓶座流星群は月明の爲殆んど何もかも觀測されてゐない。6月の中旬小槇(和枝)氏はヘルクレス座に小流星群の活動せるを觀測された。6月上旬のシュヴスマン彗星に伴ふ流星群は全く觀測されてゐない。

× × ×

本年の獅子座流星群はすでに極大を過ぎて4年になるのであるから、著しい出現は期待出來ぬが、月明の妨害が殆んどないから出現を注意される様希望する。猶同時期の牛座流星群も注意すべきである。

流星觀測の現役軍が減少した憾がある。この期に當り奮つて觀測に参加されたい。觀測時間は流星課回報第1號の計畫に準じてやつていただきたい。同時觀測は200km位はなれてゐても方向さへうまく協定するならば、相當同一流星をとらへる見込はある。去る5月22日金屋と竹原(廣島縣)の間に2個の同一流星のあることが判つた例もあるのだから。(小槇)

變光星課便り

明るい新星四つ 昨今小望遠鏡で見える新星が四つも出てゐる。こんな事は實に稀有な事で、更にその中二つは本邦人の發見によるもので喜ばしい事である。出現順に列べて見ると、

ヘルクレス座新星 1昨年12月發見され20日過1等級に上り、その後昨年3月末まで4等星であつたのが急激に6月頃には12等に下り、下つたと思ふと又増光し6、7等級に戻り最近7等星に止つてゐる。こんな異例な變化は1892年に現れた馭者座と生きうつしである。

蛭蝟座新星 今年北海道へ日食觀測に赴いてゐた諏訪の變光星觀測家の五味一明氏が、日食の前日の夜セフェウス座 δ 星の近くに4等星を發見、折柄北海道に集つてゐた天文學者達を驚かしたが、實に世界に先んずる一番槍の發見であつたのである。6月20日には2等星に達しその後漸次減光、最近は8等星に下つたが、波動を少しやつてゐる模様がある。

鷲座新星 9月21日コペンハーゲンより入電あり、18日8等級の新星鷲座に發見とあつた。我國でも直ちに觀測されたが、意外な事に増光す。9月末内至10月初には6等級にも達した模様である。併し10月8日には8等級に下つてゐた。

射手座新星 神戸市灘區の岡林滋樹氏より10月4日19時射手座に4等星の新星發見の通知があつた。内地は一般に天候わるく確め得ない中に南米ジャクソン氏より6日6等級として確めた旨電報が入つた。10月8日の觀測では6.4等級で既に下り坂で輝線が表はれてゐた。

ミラが明るい!! 有名な此の鯨座オミクロン星は8月頃より増光し始め、10月初4等星となつた。昨今の極大は10月23日と豫報されてゐる。

(觀測希望者は、倉敷天文臺小山秋雄宛申込るれば觀測用星圖を送る)

遊星面課月報

概況 9月は比較的好天候ではあつたが、伊達幹事、前田氏の病氣の爲に成績はよくなかつた。

1月以降の見取圖合計

	渡邊	安武	前田	坂井	西森	小澤	宇野	福井	小島	淺野	伊達	木邊	
木星	20	3	21	3	1	2	1	4	4	1	25	3	88
土星	8	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2	0	14
合計	28	3	21	3	1	5	1	4	5	1	27	3	102

火星 スケツチの送付はないが、渡邊氏より手紙にて報告があつた。勿論末で取り立てて云ふ程ではないが、其れよりも、既に次回接近への皮切りとしての熱心さを認める。シルチスや極冠は認め得るようである。當課も來年度の準備に既に手を付けたから、觀測希望の人はその旨伊達幹事に申出して居て欲しい。スケツチ用紙の配布、其他の點で便宜が多いから。

木星 西天に傾き、餘程觀測し難くなつた。其の後の様子は8月に比較して、著るしい差はない様である。

土星 問題は輪が主であるから、その事に付き12月號に注意掲載する筈である。6月の失敗(勿論天候の爲であるが)を補ふ意味で、今までの課員だけでなく、一般の方の活躍を期待する。先づ11月中には輪の影の細くなつて行くのが目立て來るだろう。(木邊記)

金星 久しぶりに西の宵天に見えて來た。(山本)

まことに見事な岡林滋樹君の新星發見

去る10月4日神戸の會員岡林君は古賀恒星圖と西南の天空とを見比べつゝ、1個の4等星を發見した。Nova Sagittarii である。緯度と季節の關係上、歐米では見えず、只、我が日本と南半球のみで、今後約1ヶ月間の觀測が許される星である。昔のティヒョ・ブラ1エの如く、此の新星發見の成功に奮起して、今後の岡林君が天文學界に雄飛されんことを望む。(山本)

又々新星發見!!

10月17日, Nova Tamm, 光度7等, わし座 μ 星の西 2° , $\left\{ \begin{array}{l} \alpha = 19\text{時}23\text{分}5 \\ \delta = +7^\circ25' \end{array} \right.$

太陽課 黑點相對數報告 (1936年9月)

觀測者(觀測地)	齋藤(臺灣臺中)	久保(高知高等學校)	伊達(兵庫縣雲雀丘)	改發(神戸市關守町)	野口(大阪市北區)	前田(京都市下京區)	木邊(滋賀縣中里村)	沓掛(長野縣青木村)	清水(静岡縣島田町)	大石(静岡縣吉永村)	淺井(橫濱保土谷區)	森久保(橫濱市中區)	服部(東京市大森)	山根(東京市青山)	山名(東京市板橋)	千葉(岩手縣水澤町)
鏡徑耗	50	75	80	150	76	70	75	102	100	55	58	45	50	44	76	50
倍率	50	53	70	68	50	40	60	75	73	64	60	60	44	43	77	50
1	曇	148	缺	134	88	曇	79	120	缺	107	曇	80	曇	曇	缺	94
2	75	150	缺	缺	87	44	106	148	177	81	曇	69	曇	103	曇	雨
3	52	116	106	缺	74	52	94	110	122	83	缺	85	曇	曇	缺	79
4	曇	106	83	缺	62	52	56	曇	缺	78	曇	49	曇	曇	曇	曇
5	曇	87	74	81	53	58	94	107	90	72	曇	55	152	72	曇	曇
6	雨	105	曇	124	59	49	112	142	103	115	110	72	121	114	曇	曇
7	曇	75	缺	缺	46	41	79	100	107	98	79	77	缺	曇	112	曇
8	曇	63	46	59	59	37	57	58	76	94	69	41	92	曇	93	曇
9	68	50	53	缺	35	39	67	75	61	65	曇	35	缺	缺	96	曇
10	66	55	62	52	50	曇	53	58	57	52	61	43	曇	曇	97	曇
11	79	57	缺	69	57	36	55	曇	66	57	78	45	曇	曇	缺	曇
12	81	94	73	缺	75	49	102	79	91	42	曇	缺	曇	102	108	曇
13	54	109	97	99	80	63	83	126	76	83	108	59	131	缺	143	雨
14	84	117	78	86	65	74	113	112	109	78	缺	67	113	缺	143	雨
15	71	100	83	曇	71	67	88	曇	76	56	87	缺	缺	曇	136	曇
16	雨	97	缺	曇	94	缺	63	曇	97	80	75	曇	曇	雨	曇	曇
17	缺	101	曇	曇	84	62	63	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	曇	曇
18	曇	100	曇	曇	97	64	109	105	121	曇	曇	曇	曇	雨	曇	曇
16	曇	101	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
20	曇	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
21	108	150	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
22	118	145	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
23	128	121	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
24	曇	159	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
25	曇	167	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
26	曇	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
27	曇	134	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
28	曇	165	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
29	85	113	145	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
30	缺	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
日數	80	111	82	92	75	67	94	112	114	83	94	67	—	—	144	68
平均	14	27	11	10	22	22	25	19	20	19	12	17	7	7	14	16

●今月は天候の良かった所が多く、20日を超える観測の多いのを嬉しく思いました。毎月的事ですが、數氏の観測日數は特に目立ちますね。●野口氏、沓掛氏は毎月黒點の緯度を報告されてみます。●臺灣の松本氏が轉勤多忙のため今月は休測されましたが、同じく臺灣に新に齋藤氏が観測を報告される事になったのを喜んでみます。●いつも思ふ事ですが、朝鮮、滿洲、北海道に根氣のいい観測者が出て欲しいものです。